



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 326 号 2011.4.6 発行 社会政策研究所

---

---

(福)全日本手をつなぐ育成会や(財)日本知的障害福祉協会を始めとした知的障害・発達障害関係団体と連携・協力した支援ルートができました。多くの皆様のご支援ご協力をお願いいたします。【kobi】

平成 23 年 4 月 4 日

地方会長 各位

財団法人 日本知的障害者福祉協会  
会長 中原 強

### 東北地方太平洋沖地震による被災施設等への支援物資の提供について（協力依頼）

日頃より本会の事業につきましては、ご尽力賜り感謝申し上げます。

地方会におかれましては、被災施設等に対する義援金および支援物資へのご協力を賜り心より感謝いたしております。

さて、皆様のあたたかいご協力により、続々と支援物資が届いているところでございますが、被災地が要望している物資の中で、特に下記のものが不足しているとのことです。下記支援物資のご協力について、貴下会員施設等に対し、再度ご周知いただきたくお願い申し上げます。

また、物資収集施設（中野学園：千葉県）において、物資受取等の対応の際に、支援物資として「何を、どのくらい、いつ」送ったか、発送時に FAX をいただきたいとのことでしたので、併せてご周知のほどお願いいたします。

本会としましては、被災地域の日も早い復旧・復興に向けて、被災地域の皆様方への支援を行いたいと存じますので、今後とも本会活動へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【お問い合わせ】

財団法人日本知的障害者福祉協会 事務局 電話：03-3438-0466

2011 年 4 月 5 日

都道府県・政令指定都市市育成会 代表者 様

社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会  
理事長 副島 宏 克

### 東日本大震災による被災地への支援物資についてのご協力をお願い

平素より本会の事業ならびに活動についてご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

本年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々およびそのご家族等の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

本会といたしましては、被災された知的障害のある方々とその家族を支援するため、すでにご案内のとおり、災害対策本部（本部長・副島宏克理事長）を立ち上げるとともに、義援金の募集や情報収集・情報提供などに努めているところです。

また、被災地への支援活動につきましては、この度の被害の甚大さや広域性を鑑み、(財)日本知的障害福祉協会を始めとした知的障害・発達障害関係団体と連携・協力し、取り組むこととしております。

そこで、支援物資輸送については、関係団体が協同し、一元的な輸送ルートを設定することといたしました。これは、全国各地からの支援物資をいったん千葉県にある中野学園(千葉市若葉区)に集め、そこから岩手・宮城・福島の各拠点にまとめて輸送し、各拠点から被災地の障害のある人(施設・事業所、在宅の方々など)の元に届けるというものです。また一方で、支援物資を必要としているの方々についての情報を関係団体で共有し、それらの方々に円滑に支援物資を届ける体制を整備したいと考えております。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、支援物資のご提供についてご協力をお願い申し上げます。なお、支援物資のご送付にあたりましては、別紙の「必需品目例一覧」、「送付上のご注意」等をご参照のうえ、よろしくお願い申し上げます。

詳細は、全日本手をつなぐ育成会のホームページなどでご確認ください。

<http://www.ikuseikai-japan.jp/joho/sinsai.html>

## ■救援物資一覧■

### <生活用品>

#### 衛生品等

紙おむつ(成人用・子ども用) リハパンツ 生理用品 歯ブラシ・はみがき粉 ドライシャンプー ボディソープ マスク リップクリーム ハンドクリーム ウェットティッシュ 瞬間冷却剤(叩いて使うもの)

#### 洗剤等

消毒液(手洗い後に使用) 洗剤(トイレ用・衣類洗濯用・食器洗い用)

#### 衣類等 ※衣類・下着類は基本的に新品かそれに準じるもの(未開封品など)をお願いします。

下着類・衣類(性別・サイズ別で分類) 靴(上履き・下履き)・靴下(性別・サイズ別で分類)

#### 日用品等

タオル バスマット・フロアマット ゴミ袋 ゴム手袋(調理用、排せつ処理用) 長靴 サランラップ ガムテープ

#### 食器類

食器(使い捨てのもの) 割り箸、使い捨てスプーン・フォーク

#### 電池等 ※「ガソリン」「灯油」等の燃料は宅配便等での輸送が困難です

懐中電灯 ランタン 電池(単一・各種) 充電電池およびソーラー発電型電池充電器 電磁調理器・電熱調理器

#### 薬等

常備薬 熱冷ましシート 消毒薬 カットバン

#### <食料品等※常温で長期保存可能なもの(パン類は長期保存加工されたもの)に限る>

#### 米・小麦製品

米、パン類(長期保存加工されたもの)

#### 缶詰

魚・肉の缶詰、果物の缶詰

#### 調味料

塩 砂糖 コショウ 醤油 味噌 漬け物 のり マヨネーズ

#### インスタント食品

レトルトカレー、カップ麺、カップスープ・みそ汁

#### 飲料

水 野菜ジュース

#### ■送付上の注意■

1. 中野学園への送付は、必ず元払いをお願いします。着払いをご遠慮ください。
2. 支援物資は、できるだけ「種類」「品目」ごとに分けてダンボール箱に詰め、隙間ができないように梱包してください（衣類は、男女別・サイズ別で透明なビニール袋に入れてから箱詰めする）。
3. 梱包時は、ガムテープの端を少しだけ折り返してください（開封しやすいように）。ただし、ガムテープ自体はしっかり貼ってください。
4. 箱の側面に、入っている品目名を油性ペンで大きく明記してください。
5. 添付の「必要物資品目例一覧」を参考に、箱に入れた物資の「品目のリスト」を作成し、箱に入れてください。
6. 「品目のリスト」には、お送りいただく物資の品目、数量、担当者様のお名前・連絡先を記載してください。
7. 発送とあわせて、別紙の「物資発送連絡 FAX 送信票」に送付する物資の品目と数量、送付元団体と担当者・連絡先を記入し、事前に中野学園までファクスでお送りください（ファクス番号：043-228-4651）。
8. 物資の受付期間：平成 23 年 3 月 28 日（月）～4 月 27 日（水）  
※ただし、状況によって期間中に締め切る場合、延長する場合があります。

#### ■送付先住所■

社会福祉法人あしたば・中野学園 支援物資係宛  
〒265-0001 千葉県千葉市若葉区中野町 1574-31  
TEL：043-228-6114 / FAX：043-228-4651

#### 「スピーチサポートDS」開発



山陰中央新報 2011年4月6日  
「スピーチサポートDS」のソフトを使って会話をするプロジェクトゆうあいのスタッフ(左)＝松江市末次町、松江市役所

発話が不自由な人のコミュニケーションを支援する携帯型ゲーム機用のソフト「スピーチサポートDS」を、障害者の社会参画を支援するNPO法人プロジェクトゆうあい（松江市殿町）とソフトウェア開発のワコムアイティ（同市北陵町）が共同開発し、発売した。入力した文字を音声に変換できる他、近距離であれば同ゲーム機同士でリアルタイムな会話ができる。

ソフトは任天堂の携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS i」専用で、インターネットを經由しダウンロードする。価格は500DS iポイント（500円相当）。島根県内の企業が同ゲーム機用ソフトを発売するのは初で、障害者向け支援ソフトとしては全国2例目という。

入力した文章を音声化したり、ゲーム機の通信機能を使い、手書き文字や絵を最大4人で同時に共有できたりする。また、二つの画面のうち一方を上下反転で表示でき、文字によってもスムーズな会話が可能となる。

昨年7月、タッチパネル式の小型パソコン用として商品化したソフトを、ゲーム機用に応用。ゆうあいのスタッフとともに5日、松江市役所で会見したワコムアイティの今岡克己社長は「障害のある人をはじめ、多くの人とのコミュニケーションツールとして広がれば」と話した。

## OKIワークウェル、特別支援学校でキャリア教育

朝日新聞 2011年4月6日

ITで働く可能性を広げたい。障害者雇用の場として在宅勤務で企業や自治体向けホームページ（HP）作成などを手がけるOKIワークウェル（東京都港区）。社員自ら学校でのボランティア教育に参加するほか、2011年から特別支援学校で職業観などを育てる「キャリア教育」に乗り出した。

津田貴社長は「将来、社会に出て働くためには仕事で使う電話やパソコンに親しみ、達人になることが大切」と訴える。2月には手足などに障害のある児童が通う都立八王子東特別支援学校（東京都八王子市）で出前授業を実施した。津田社長と社員2人が参加。頸椎（けいつい）損傷で四肢がまひした社員の関正一さんは、HPの更新作業の様子や自立に必要な心構えを子どもたちに伝えた。小学部の5年生4人が授業を受け、パソコンやインターネットなどのITを活用した仕事に真剣に耳を傾けた。このほか、職場で実際に運用している多地点を音声で結ぶシステムを披露するなど仕事の疑似体験もした。

同社では出前授業を広く受け付けるため、専用ウェブサイトを開設。肢体が不自由な児童が通う特別支援学校や病院内の学級にも積極的に訪問を続ける方針だ。

津田社長は今回の出前授業の最後、「障害のある人たちが勉強しやすく働きやすく、生活しやすい社会になるよう当社も頑張るが、後輩のためにも皆さんが将来活躍してくれることを期待している」と児童らにエールを送った。

## 障害者 いきいき働く農場

朝日新聞 2011年4月6日

指導を受けながらハウレンソウの種をまく利用者ら＝4日、つくば市大角豆

◇つくばで開所 遊休地解消も目的

つくば市のNPO法人「つくばアグリチャレンジ」が、障害者の働く場として整備した農場「ごきげんファーム」が4日、開所した。

同法人理事長の五十嵐立青さん（32）と、農場長で筑波大を卒業したばかりの伊藤文弥さん（22）らスタッフ7人が準備してきた。障害者雇用と遊休地解消などのモデル構築を目指している。

開所式には、つくば、土浦、石岡市などの障害者10人が出席。19～62歳で自閉症や知的障害などがあるという。

10人は初めて経験する種まき機に戸惑いながらも専門家の指導を受け、5アールにハウレンソウの種をまいた。畑は全部で1・8ヘクタールあり、モロヘイヤなども栽培する。

五十嵐理事長は「生きがいを感じながら働ける農場にしたい」とし、「ハウレンソウは年間を通じてできるし、これまで栽培方法を学んできた。出荷制限は必ず終わる」と話す。

農場では筑波大との共同で、障害者が農業に従事することで障害の状態がどう変化するかについても研究を進める。農場の定員は25人。約10人の利用者を募集している。問い合わせは、伊藤さん（080・3204・5387）へ。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行